

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 657 号

2016年3月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

2016年アルミニウム缶需要 225.4億缶を予測

アルミ缶リサイクル協会（遠藤政宏理事長）は2月16日、2015年のアルミニウム缶需要見込みと、2016年の需要予測を発表した。

これによれば、2015年の国内アルミニウム缶需要は前年比10パーセント増の222億缶と、20年ぶりの大きな伸びとなる見込みで、当初予想した7パーセント増の217億缶を上回る数字となった。

国産缶の出荷量が200億缶を超えるのは2015年が初めてで記念すべき年となる。

2015年について、ビールを除くアルコールと非アルコールを合わせて需要は114億缶にのぼり、ビール缶需要の100億缶を初めて上回る。

レディ・トゥ・ドリンク（RTD）と呼ばれる栓を開けてそのまま飲めるチューハイやカクテル、ハイボールなど低アルコール飲料向けが好調で、ビール以外のアルコール飲料は28億4千万缶と、2015年は前年比16パーセント増の見込み。コーヒーなど非アルコール飲料向けは85億7千万缶で25パーセント増。

一方、ビール向けは減少傾向が続く。1パーセント減少して100億缶の見込み。

過去6年間のアルミニウム缶需要は下記の通りで順調な増加を続けている。（単位・億缶）

・2009年 182.4 ・2010年 185.6 ・2011年 188.0
・2012年 191.3 ・2013年 194.5 ・2014年 201.4

日本の飲料用アルミニウム缶需要量（1～12月）

（単位：億缶、カッコ内は前年比%）

暦年		2014年実績	2015年実績見込み	2016年予測	
A 向先別 国産缶 出荷量	ビール（発泡酒・新分野含む）	100.5（99.0）	100.0（99.0）	99.0（99.0）	
	ビール 以外の 飲料	その他のアルコール	24.4（109.0）	28.4（116.0）	30.0（105.0）
		非アルコール	68.6（112.0）	85.7（125.0）	89.0（104.0）
	ビール以外の飲料計		93.0（111.0）	114.1（123.0）	119.0（104.0）
	小計		193.5（104.0）	214.1（111.0）	218.0（102.0）
	（うちボトル缶数量）		22.6（111.0）	25.6（113.0）	30.0（117.0）
B	空缶輸入量	0.5（100.0）	0.5（100.0）	0.5（90.0）	
C	実缶輸入量	8.0（95.0）	8.5（100.0）	7.5（94.0）	
D	実缶輸出量	0.6（100.0）	0.6（100.0）	0.6（100.0）	
E	国内需要量計（A+B+C-D）	201.4（104.0）	222.0（110.0）	225.4（102.0）	

2015年生産 ダイカスト減少・鋳物増加

経済産業省がこのほど発表した2015歴年（1月～12月）の生産動態統計による生産量は、

- ・アルミニウム・ダイカスト 951,715トン
- ・アルミニウム鋳物 418,530トン

で、アルミニウム・ダイカストの生産量は前年比2.4パーセントの減少、アルミニウム鋳物の生産量は前年比0.3パーセントの増加と明暗を分けた。

ダイカストは自動車生産の減少や、設備投資の衣服で需要が減退し、2年ぶりに前年実績を割り込んだ。一方、鋳物は2年連続して前年を上回った。

ダイカスト

主力の自動車が2.5パーセント減の847,977トンで2年ぶりのマイナス。自動車生産台数が2年ぶりに減少し需要環境が悪化した。

一般機械は鋳物と同様に需要が伸び悩み、3.6パーセントの減少で28,207トン。二輪車はダイカスト製品の使用量が多い軽二輪や小型二輪の生産減少や海外生産シフトなどで5年連続して前年を下回った。

その他は2パーセント増の30,886トンで2年連続

のプラス。汎用エンジンや船舶、フォークリフト、建築関係などから引き合いが堅調に推移し、昨年からは二輪車向けを上回る水準が続いている。

鋳物

一般機械が0.9パーセント減の8,247トンと3年ぶりのマイナス。設備投資の衣服で国内需要が伸び悩んだほか、中国やロシアの景気悪化で機械輸出の鈍化が影響した。

自動車やその他の輸送機械は0.4パーセント増加の398,994トンで2年連続のプラス。自動車は国内販売台数の伸び悩みから前年と同水準だったが、自動車を除く輸送機械が鉄道分野などからの引き合い増加により11.2パーセントと大きく増加して全体の生産量を底上げた。

公共投資や土木、建築などが含まれるその他は、4パーセント減で11,290トンと3年ぶりにマイナス転落した。住宅着工戸数の伸び悩みで建材の引き合いが低調に推移し、公共事業も発注件数が減少した。

無事故無違反100日運動 アスカ工業好成绩達成

西尾安全運転管理協議会（山崎周弥会長）主催で実施された「チャレンジ無事故無違反100日運動」の達成事業所表彰式が2月29日、西尾警察署において開催された。

この運動は5人以上でチームを編成し、無事故無違反を目指すもので昨年9月23日から12月31日までの100日間で行われた。

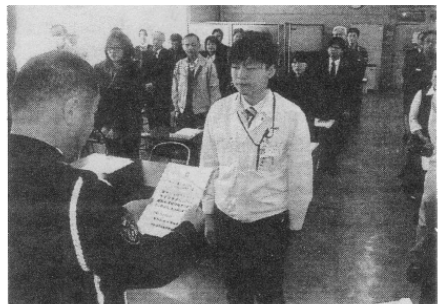
参加チームは1,650チーム、総勢10,600名が参加した。無事故無違反の達成は、483チーム、29.3パーセントの成績に終わった。

この運動にアスカ工業株式会社は9チームが参加し全チームが見事に目標を達成、100パーセントの達成率で表彰された。

この日は目標を達成した各事業所の担当者が出席、西尾警察署の竹尾孝由署長と山崎周弥会長から表彰状と記念品が授与された。

竹尾署長は「悲惨な交通事故の防止に皆さんで取り組み、大きな成果を挙げていただいたが、これを機会に、一層交通事故の防止と安全運転の普及活動に尽力してほしい」とあいさつした。

（写真・表彰式）



日銀異次元緩和
マイナス金利導入

3週間後の市場

日本銀行は1月29日の金融政策決定会合で、銀行からの当座預金に付ける金利の一部を初めてマイナスにする金融緩和策を決定した。

日銀は「量的・質的緩和の限界でなく金利面の緩和策を追加」し、「必要であれば更に追加措置を講じる」との考えを示した。

その後3週間を経過した市場は、予想に反して株式市場は低迷、円は対ドルで上昇した。「劇薬」と言われるマイナス金利政策の効果と逆効果の両面を冷静に注目する必要がある。

日銀マイナス金利発動後の市場変動

		1月29日	2月19日	比較(%)
株式指数	日経平均	17,518.30	15,967.17	- 8.9
	N.Y.ダウ	16,205.75	16,304.88	+ 0.6
	上海総合	2,737.60	2,860.21	+ 4.4
	韓国総合	1,912.06	1,916.24	+ 0.2
国債利回	日本10年債	0.095%	0.005%	- 94.7
	米国10年債	1.92%	1.74%	- 9.4
通貨	円 / ドル	121.00円	112.90円	+ 6.7
	円 / ユーロ	131.46円	125.60円	+ 4.5
商品	アルミ新地金	238円	230円	- 3.4
	ドバイ原油	30.70 ^{ドル}	30.00 ^{ドル}	- 2.3

鳥羽の火祭り

2月14日鳥羽神社

1200年前から伝わる鳥羽神社（西尾市鳥羽町）の火祭りは天下の奇祭として知られ、国の重要無形文化財に指定されている。

裸体の厄男達が鳥羽海岸で体を清め、5.5米の巨大たいまつ燃えさかる中に飛び込み、神木と縄を取り出して神前に供え、その結果によって今年の天候と作物の出来具合を占うという勇壮な行事。

火祭りは2月14日に盛大に行われ、本年は1年を通じて好天に恵まれ、収穫も良好と占いが下された。

また、燃え残りの竹を箸（はし）にして食事をすれば、歯が丈夫で健康が保たれるという言い伝えから、燃え残りの竹は観衆の貴重な記念品となった。



鳥羽の火祭り

三河湾の しおひがり

西尾市の三河湾沿岸には8ヶ所の潮干狩り（しおひがり）のスポットがあり、3月8日にオープンする。当地の「あさり」貝は極めて質が高く、全国的に有名である。

西尾市は積極的に宣伝中で、お問い合わせは西尾市観光協会（電話0563-65-2169番）へ。ただし、干潮時刻と天候により、交通渋滞の起る可能性があり、ご注意のほど。



〔広報にしお二月十六号表紙〕

社内情報

- ◎毎日に日足が伸び、本格的な春の訪れが間近いことが知られます。隣接する矢作川の大堤防が、間もなく新緑の若芽で美しく化粧する絶好の季節を迎えます。
- ◎好天の折、是非ご来訪をいただき、環境絶佳の矢作川河口の風景をお楽しみいただけますよう、おすすめ申し上げます。

編集後記

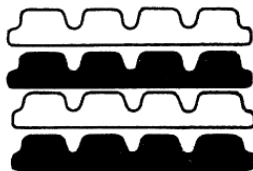
- 2015年のアルミニウム缶需要量は前年比10%の伸びと大きく躍進、ご同慶の至りです。
- コーヒー缶を主体に、非アルコール飲料缶の爆発的な増加が目立ちます。反対に、ビール缶の落ち込みは理解が出来ません。
- 鉄鋼業界を筆頭に、金属業界全体に低迷感が広がっている折柄、アルミニウム缶はホープです。

アルミ缶リサイクリング 铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。

ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社



〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500(代)
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>